

懐かしの Photograph

盛岡写真今昔物語

普段見慣れた街の姿も、時の流れの中で少しずつ、時には大きく変化してきました。
心の奥に残っている、昔の街の姿を懐かしみながら、変化し続ける盛岡の街をご覧ください。



昭和50年頃の開運橋交差点

(写真提供：街もりおか)

昭和28年に架けられた開運橋。新幹線開業前の盛岡は、首都圏との時間的距離も遠く、転勤で訪れた人には別名「二度泣き橋」とも呼ばれました。



現在の開運橋交差点

周りの街並みはかなり変わりましたが、開運橋は現在も変わらぬ姿を残しています。
この橋は盛岡を訪れる多くの人が渡る交通の要所であり、盛岡を代表する景観でもあります。